



京都府亀岡市

## 「酒造りは米作りから、米作りは土壌から」 自社栽培の酒米で酒造りに取り組む。

かぶしがいしゃめいどいんきょうと たんざんしゅぞうゆうげんがいしゃ  
株式会社メイドイン京都 (丹山酒造有限会社)

WEB サイト：<https://tanzan.co.jp/>

### 参入法人の概要

法人形態：農地所有適格法人

代表者名：取締役社長 長谷川 渚

所在地：京都府亀岡市横町7番地

設立年次：平成27年9月

資本金：200万円

親会社：丹山酒造有限会社

営農形態：土地利用型

主要作物：水稲（醸造用）

経営面積：13.8ha（うち借入13ha）

主な販売先：酒造用原料として丹山酒造へ全量販売

売上額：4,000万円（農業外売上0円）

農業従事者数：2名

### ●農業に参入した目的を教えてください

親会社である丹山酒造は、京都府亀岡市の老舗酒造会社です。嵐山上流に位置し、天恵の水と豊かな土壌に恵まれた土地で、100年以上丹精込めた酒造りを続けています。

酒造組合を通じて酒米購入していましたが、使用したい品種の酒米の調達に難しく、求める醸造用原料米を安定して調達するために平成27年に当社を設立し、農業に参入しました。



山田錦の栽培圃場

### ●当該土地を選んだ理由を教えてください

現在、亀岡市の旭、馬路、河原林の3地区で営農しています。まとまった農地が確保できたことや地区の住民が協力的であったこと、水が豊富で土質が酒米の栽培に適していたこと、基盤整備が完了しており大型機械も活用できること、などが当該土地を選んだ理由です。

また、高齢化や過疎化が進んでいる地域であり農家から農地を活用してほしいといった依頼もあり、地区内で規模拡大を進めやすいのではないかと考えました。

### ●当該作物を選んだ理由を教えてください

親会社である丹山酒造は、「酒造りは米作り、米作りは土壌から」という理念を実践するため、酒米の山田錦を栽培品種とし、無農薬有機栽培に取り組むことにしました。

### ●参入にあたって栽培技術や販路の確保にどのように対応されましたか

酒造業が本業で農業経験者がいなかったため、酒米づくりを行っていた農業経営者を、現場責任者として迎え入れました。

栽培では元肥に南丹市の八木バイオエコロジーセンターのバイオ液肥を施用するほか、田植え時には、有機栽培用の肥料を田植機で側条施肥し、追肥として酒粕と油粕を混合してペレットにした

自社製有機肥料を動力散布機で施用するなど、有機肥料での酒米の栽培に取り組んでいます。

また、現在、有機栽培を行っている3haのほ場で有機JASの認定を目指しているとのこと。

### ●農業参入してみて気づいた（参入するまで気づかなかった）のはどのようなことですか

原料の生産（原料の確保）から醸造まで一貫して行うことで醸造したお酒を安心して顧客に勧められ、それが自信となります。

一方、当社が生産する酒米で親会社が必要とする量をまかなえていないため、今後の規模拡大に向け社員を増やす必要がありますが、会社として営農を継続させるための担い手の育成・確保が課題です。

また、農業用機械は高額なため、中古機械を購入していますが、故障が多く耐用年数も短いので絶えず修理と更新に追われる状況です。



自社の山田錦を使用したお酒

### ●地域の方や農業委員会、JA、自治体との関係について気を付けていることがあれば教えてください

JAからは資材等の購入もしており良好な関係です。また、市、農業委員会へは、農業参入する際に相談して農地関係の手続きなどで協力してもらいました。

会社としても地域との関わり合いの中で営農しているので集落とのお付き合いを大切にしています。地域の方からも農地を預かってほしいとの相談もあるなど関係は良好です。

また、地域計画の話し合いに参加する中で、地域の農業者と農地の集約化に向けた圃場の交換などの相談も行っています。

### ●今後の経営方針について教えてください

丹山酒造で使用する酒米全量を自社栽培とすることを目標に栽培面積を25haまで拡大するとともに、より多くの農地で有機JASを取得することを考えています。

また、今後の規模拡大に向け若手の農業専従社員を拡充し育成する方針です。

### ●今後、農業参入しようと考えている企業へのメッセージをお願いします

地域との関わりを大切にすること。地域の協力が無ければ農業を継続できません。

農業は永年にわたり地域で取り組まれてきたものであり、先祖から受け継いできた農地を大切に、地域と共生し、永続的に営農ができるような自然に優しい農業をしてもらいたいです。

農業を続けていくためには専門知識を持った者の働きが重要であるため、組織として担い手を育てることが永続的に農業を続けられるかの重要な要素です。



丹山酒造の前で代表と現場責任者